

佐藤 高清 議員 政新会



問 学校統廃合、説明義務を果たせ

答 地域に入り丁寧に進めていく

問 小中学校の小規模化はどのように推移していくか。

答 〔教育長〕 5年後の児童数は、大藤・栄南小学校合計で減少幅15%。十四山東部・西部小学校合計で減少幅30%。

問 平成28年3月の弥富市立小中学校適正規模検討委員会の答申に対する市民への説明は。

答 該当地区に出向き趣旨を伝え、答申案に不賛成だった。

問 答申への教育長の思いは。

答 学区の変更が必要となり、難しい問題だと認識。子どもたちのためには、どのような環境が適正であるか、保護者とともに考えていく。

問 弥富市公共施設再配置計画をふまえての思いは。

答 答申を出した当時と、現在の適正規模の考え方を变える必要があった。

問 小中学校の統廃合と保護者アンケートのこれまでと今後は。

答 高い回答率を得て、いかに関心が高いかが伺えた。

今後、地域の市民や団体から意見を集約する。

尊重したいのは保護者であり、さらに意見を集約する。

問 ここまでの過程と今後は。

答 〔市長〕 答申後、社会情勢が大きく変わった。保護者や地域の方から意見を伺い、有識者を含めた委員会で検討する。

児童数(人)	令和2年5月1日	令和7年
大藤小	143	117
栄南小	90	80
十四山東部小	137	111
十四山西部小	113	64



▲十四山中学校